



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場会社名 名鉄運輸株式会社 上場取引所名
 コード番号 9077 URL http://www.meitetsuunyu.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 雄己
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 吉川 篤史 (TEL) 052(935)5721
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	22,814	△2.1	668	△11.0	683	△14.8	354	△21.5
25年3月期第1四半期	23,301	11.4	750	△0.4	802	2.4	451	38.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 454百万円(25.9%) 25年3月期第1四半期 361百万円(12.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	14 58	—
25年3月期第1四半期	18 56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	80,225	13,574	15.9
25年3月期	80,071	13,210	15.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 12,777百万円 25年3月期 12,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	3 50	3 50
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		0 00	—	3 50	3 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	△2.5	1,000	△21.0	900	△30.8	500	△1.1	20 58
通期	91,500	△0.9	2,100	△8.4	1,900	△16.0	700	△9.4	28 81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期1Q	24,402,991株	25年3月期	24,402,991株
26年3月期1Q	106,877株	25年3月期	106,275株
26年3月期1Q	24,296,515株	25年3月期1Q	24,299,986株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の大胆な金融緩和に対する期待などを受けて、株価やマインド面が先行して改善しました。しかしながら輸出や個人消費は緩やかな回復にとどまったほか、為替の円安基調は輸入価格の上昇を招来するなど、実体経済の好転は限定的なものとなりました。

物流業界におきましても、景気の浮揚感を貨物輸送量の増大により実感するには至らず、円安による燃料価格の高止まりなどコスト増加要因が企業収益を圧迫し、慢性的な乗務員不足が続くなど、厳しい事業環境で推移しました。

当社グループでは、このような状況に対し、新中期経営計画の2年目として、より利益の確保を意識した施策を展開しました。

営業面におきましては、適正な重量による貨物の受託や採算が合わない契約内容の見直しといった、適正な運賃收受のための取り組みを強化しました。また、グループ内で重複する集配エリアの解消を引き続き進めるとともに、これまで各社ごとに開発してきた業務・輸送システムを一本化し、グループ内での共通運用を図るため、新たに名鉄トラックグループ各社の合同プロジェクトとして情報システム開発室を立ち上げました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比2.1%減の22,814百万円となりました。一方で、人件費や委託料などは減少したものの売上高の減少をカバーするに至らず、営業利益は前年同期比11.0%減の668百万円となり、経常利益は前年同期比14.8%減の683百万円、四半期純利益は前年同期比21.5%減の354百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

(貨物自動車運送事業)

貨物自動車運送事業では、日用品や食料工業品などの消費関連貨物において、緩やかながらも回復の動きが見えたものの、期半ばには足踏み状態となりました。この結果、売上高は前年同期比0.2%増の20,267百万円にとどまり、売上総利益は前年同期比10.6%減の1,377百万円となりました。

(航空利用運送事業)

航空利用運送事業では、国内航空貨物の取扱量の減少や、主要顧客である音楽関係の売上不振が大きくなり、売上高は前年同期比7.3%減の1,901百万円となりましたが、一方で店所の統廃合などによる費用削減効果もあり、売上総利益は前年同期比40.4%増の94百万円となりました。

(流通事業)

流通事業では、主要顧客である飲料、日用雑貨メーカーやコンビニ関連の取扱量は堅調に推移しましたが、一部子会社の流通加工事業からの撤退や、メーカーの生産調整による請負業務の減少が影響し、売上高は前年同期比24.0%減の1,072百万円、売上総利益は前年同期比10.1%減の139百万円となりました。

(その他)

その他の事業では、新規の賃貸開始などにより、売上高は前年同期比17.8%増の36百万円となり、売上総利益は前年同期比22.5%増の28百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産の部]

流動資産は、前連結会計年度に比べて272百万円増加し、15,664百万円となりました。これは、繰延税金資産が270百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度に比べて118百万円減少し、64,560百万円となりました。これは、減価償却などにより有形固定資産が173百万円減少したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度に比べて153百万円増加し、80,225百万円となりました。

[負債の部]

流動負債は、前連結会計年度に比べて2,373百万円減少し、38,152百万円となりました。これは、未払費用の増加などによりその他が699百万円、未払法人税等が398百万円増加したことなどに対し、短期借入金3,547百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度に比べて2,162百万円増加し、28,498百万円となりました。これは、長期借入金が2,029百万円増加したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べて210百万円減少し、66,651百万円となりました。

[純資産の部]

純資産合計は、前連結会計年度に比べて364百万円増加し、13,574百万円となりました。これは、主として利益剰余金が269百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね予定通りに推移しており、平成26年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成25年5月9日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

なお、今後、業績予想に大きな変化がある場合には適時に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	553	585
受取手形及び営業未収入金	13,358	13,123
有価証券	2	2
貯蔵品	187	183
繰延税金資産	388	659
その他	939	1,147
貸倒引当金	△37	△35
流動資産合計	15,392	15,664
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,631	34,958
減価償却累計額	△23,927	△23,440
建物及び構築物(純額)	11,703	11,517
機械装置及び運搬具	25,539	24,869
減価償却累計額	△18,123	△17,417
機械装置及び運搬具(純額)	7,415	7,451
土地	38,239	38,241
リース資産	1,183	1,193
減価償却累計額	△831	△858
リース資産(純額)	351	334
その他	1,388	1,347
減価償却累計額	△1,020	△990
その他(純額)	367	357
有形固定資産合計	58,077	57,903
無形固定資産		
リース資産	119	89
その他	518	578
無形固定資産合計	637	668
投資その他の資産		
投資有価証券	2,403	2,539
長期貸付金	78	77
繰延税金資産	1,112	1,088
その他	2,462	2,369
貸倒引当金	△92	△86
投資その他の資産合計	5,964	5,989
固定資産合計	64,679	64,560
資産合計	80,071	80,225

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	9,088	9,115
短期借入金	19,968	16,420
1年内返済予定の長期借入金	5,597	5,891
リース債務	189	146
未払法人税等	260	658
賞与引当金	234	33
その他	5,186	5,885
流動負債合計	40,525	38,152
固定負債		
長期借入金	14,799	16,829
リース債務	217	207
繰延税金負債	314	313
退職給付引当金	7,474	7,647
役員退職慰労引当金	153	126
資産除去債務	595	597
再評価に係る繰延税金負債	2,366	2,366
その他	414	408
固定負債合計	26,336	28,498
負債合計	66,861	66,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,065	2,065
資本剰余金	1,534	1,534
利益剰余金	6,703	6,972
自己株式	△20	△20
株主資本合計	10,283	10,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	424	513
土地再評価差額金	1,711	1,711
その他の包括利益累計額合計	2,135	2,224
少数株主持分	791	797
純資産合計	13,210	13,574
負債純資産合計	80,071	80,225

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	23,301	22,814
売上原価	21,542	21,202
売上総利益	1,759	1,612
販売費及び一般管理費		
人件費	535	505
施設使用料	151	145
その他	322	292
販売費及び一般管理費合計	1,009	944
営業利益	750	668
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	39	43
持分法による投資利益	2	3
受取手数料	16	16
補助金収入	50	3
貸倒引当金戻入額	1	—
その他	31	20
営業外収益合計	142	88
営業外費用		
支払利息	87	69
その他	3	2
営業外費用合計	90	72
経常利益	802	683
特別利益		
固定資産売却益	37	72
負ののれん発生益	26	—
その他	7	0
特別利益合計	71	72
特別損失		
固定資産処分損	2	7
減損損失	6	0
投資有価証券評価損	7	1
その他	1	0
特別損失合計	18	10
税金等調整前四半期純利益	856	746
法人税、住民税及び事業税	665	670
法人税等調整額	△278	△289
法人税等合計	386	380
少数株主損益調整前四半期純利益	469	365
少数株主利益	18	11
四半期純利益	451	354

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	469	365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108	89
その他の包括利益合計	△108	89
四半期包括利益	361	454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	345	443
少数株主に係る四半期包括利益	15	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	貨物 自動車 運送事業	航空利用 運送事業	流通事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,861	2,007	1,402	23,270	31	23,301	—	23,301
セグメント間の内部 売上高又は振替高	371	44	9	424	—	424	△424	—
計	20,232	2,051	1,411	23,695	31	23,726	△424	23,301
セグメント利益	1,540	67	155	1,763	22	1,786	△26	1,759

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	貨物 自動車 運送事業	航空利用 運送事業	流通事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,852	1,862	1,064	22,778	36	22,814	—	22,814
セグメント間の内部 売上高又は振替高	415	39	8	463	—	463	△463	—
計	20,267	1,901	1,072	23,241	36	23,278	△463	22,814
セグメント利益	1,377	94	139	1,610	28	1,639	△26	1,612

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。